

# 2005年度 事業報告書(案)

第5号議案

(2005年4月1日～2006年3月31日)

2005年度の事業を次のとおり実施した。

## 1. 普及振興事業について

### (1) 地域組織の活動支援

#### ア) 地域組織が開催する競技会への支援

- ・練馬区トライアスロン連合
- ・板橋区トライアスロン連合
- ・墨田区トライアスロン連合
- ・小金井トライアスロン連合
- ・杉並区トライアスロン連合
- ・世田谷区トライアスロン連合
- ・大田区トライアスロン連合
- ・調布市トライアスロン連合
- ・日野市トライアスロン連合
- ・八王子トライアスロン連合
- ・目黒区トライアスロン連合
- ・渋谷区トライアスロン連合
- ・町田市トライアスロン連合
- ・国立市トライアスロン連合

以上14団体へ大会資材の貸し出し、人員の派遣等を行った。

#### イ) 区市体育協会加盟金の助成

今年度は新たな体協加盟団体はなかった。

#### ウ) 地域組織設立の支援

今年度は新たな地域組織設立の活動はなかった。

### (2) 会員数の拡充

会員サービス向上及びウェブ登録システムの検討を行った。

### (3) 東京都体育協会への加盟推進

2006年度加盟を目指して調査検討を行った。

### (4) 選手への強化支援

ア) 日本トライアスロン選手権大会へ男子6名・女子3名を派遣した。

イ) ジュニア選手への強化のための講習会は開催出来なかった。

### (5) 大会資機材の整備補充

具体的な施策が出来なかった。

### (6) 障害者への大会参加啓蒙活動の推進

具体的な施策が出来なかった。

## 2. 講習会・研究会等の開催

### (1) 講習会の開催

ア) 選手を対象とした講習会は実施出来なかった。

イ) 審判員を対象とした講習会を06年2月12、26日に実施した。

ウ) 選手強化を対象とした講習会は実施出来なかった。

### (2) 研究会等の開催

ア) 大会運営マニュアルの作成を目的とした研究会は実施出来なかった。

## 3. 競技会の開催

### (1) 主催大会

ア) 第16回東京都トライアスロン選手権大会兼2005東京都トライアスロン渡良瀬大会  
(日本トライアスロン選手権東京ブロック代表選考指定大会)

開催日 2005年7月24日 選手317名

イ) JTU 認定記録会

開催場所 日野市／八王子市 開催日 2006年3月12日 選手18名

(2) 主管大会 (本連合が競技運営を委託されて運営する大会)

ア) 2005年全国高校生トライアスロン大会 9月17日

イ) 2005アミノバリューカップトライアスロン大会 in 国営昭和記念公園 9月17日

ウ) 2005年ホルツァー杯トライアスロン大会 in 国営昭和記念公園

(JOC ジュニアオリンピックカップ) 9月18日

エ) 第11回日本トライアスロン選手権東京港大会 10月23日

オ) チームケンズカップ 06年1月8日

カ) カーフマンジャパン 06年2月12日

キ) 第15回国営昭和記念公園トライアスロン大会 7月3日

ク) 第17回レディストライアスロン選手権 in 国営昭和記念公園大会 7月3日

(3) 協力大会 (本連合が競技運営の協力依頼を受けて人員等の派遣を行う大会)

伊豆大島スーパー駅伝／レディストライアスロン大会 8月28日

(4) 後援大会

地域組織が開催する大会の支援を行った。

4. 審判員及び指導者の育成と資格試験

(1) 審判員講習会の開催

(社)日本トライアスロン連合公認審判員試験の受験者(第2種・第3種)及び更新予定者を対象に06年2月19日に講習会を実施した。

(2) 審判員資格試験の実施と推薦

第2種・第3種公認審判試験を06年2月26日に実施した。

(3) 指導者の養成

JTU コーチングシンポジウム(10月24日開催)へ役員派遣を行った。

(4) 審判員の派遣

他団体が主催する競技会に審判員を派遣した。

5. 関係団体との調整

(1) (社)日本トライアスロン連合

ア) 各委員会へ委員の派遣

- ・ 広報委員会・技術委員会・女子委員会・普及委員会・環境委員会
- ・ メディカル委員会・指導者養成委員会・強化委員会

イ) 認定記録会の開催 06年3月12日

(2) (社)日本トライアスロン連合東京ブロック協議会

5月8日、06年2月5日の2回開催した。

(3) 他道府県トライアスロン団体との交流

関東ブロック協議会加盟団体を中心に全国の団体と情報交換を行った。

6. (社)東京都トライアスロン連合ホームページの管理運営

ホームページを管理運営し大会情報等を積極的に更新しトライアスロンの普及に役立てた。

また2006年度会員のウェブ登録システムを立ち上げた。

以上